

下水道事業会計の資金確保策について

1. 経過

S53年～ 経費節減のため、水道料金の検針期間を2か月から4か月に変更

【問題点】

- ① 地下式の水道メーターでは冬期間、最大8か月間積雪で検針ができない
- ② 推定水量のため精算月に料金の偏り・返還（苦情）が発生していた

H25年 （1）顧客サービスの向上と検針の効率化を図るため、
H27年度から水道メーターの地上化（※）を決定
※ メーター本体を見なくても表示器で水量を確認できる電子式メーターへの更新
（2）H27年度から検針期間を2か月に短縮することを決定
→ 精算の誤差が小さくなり、市民サービスが向上する

【問題点】

- ① メーターの地上化に掛かる高額な費用（本体価格は地下式の3倍以上）
- ② 下水道事業会計には、H34（R4）年度までの地上化に必要な資金が見込めなかった

【解決策】

「下水道事業会計から下水道事業会計にメーターの地上化費用を出資する」

（理由）

- ① 水道メーターで計った使用水量を下水道の使用水量としている
- ② 下水道事業会計では、それまで水道メーターの取り替え費用を負担してこなかった
- ③ 下水道事業会計には、8年間の地上化に必要な資金が見込めた（当時は）

H27年～ （1）水道メーターの地上化を実施
メーターの地上化率：63.3%（H30年度末）
（2）下水道事業会計から下水道事業会計に地上化に掛かる費用を出資
H30年度まで4年間・総額約7億1千万円

【計画との相違】（下水道事業会計）

- ① 国の交付金の削減（4年間合計：約2億3千万円のマイナス）
- ② 下水道使用料の減少（4年間合計：約2億円のマイナス）

2. 資金確保の状況

- （1）下水道事業会計の資金は、計画より大幅減（H30決算：計画比約3億3千万円マイナス）
- （2）水道事業会計の資金確保は、おおむね計画を達成（H30決算：計画比約6億5千万円プラス）

3. 見通し

- （1）3年後（R4年度）には、下水道事業会計の資金が大きく不足し（マイナス1億7千万円）、その後は回復傾向となる
- （2）水道事業会計は、出資を継続すると予定以上に多く資金を確保できる見込み

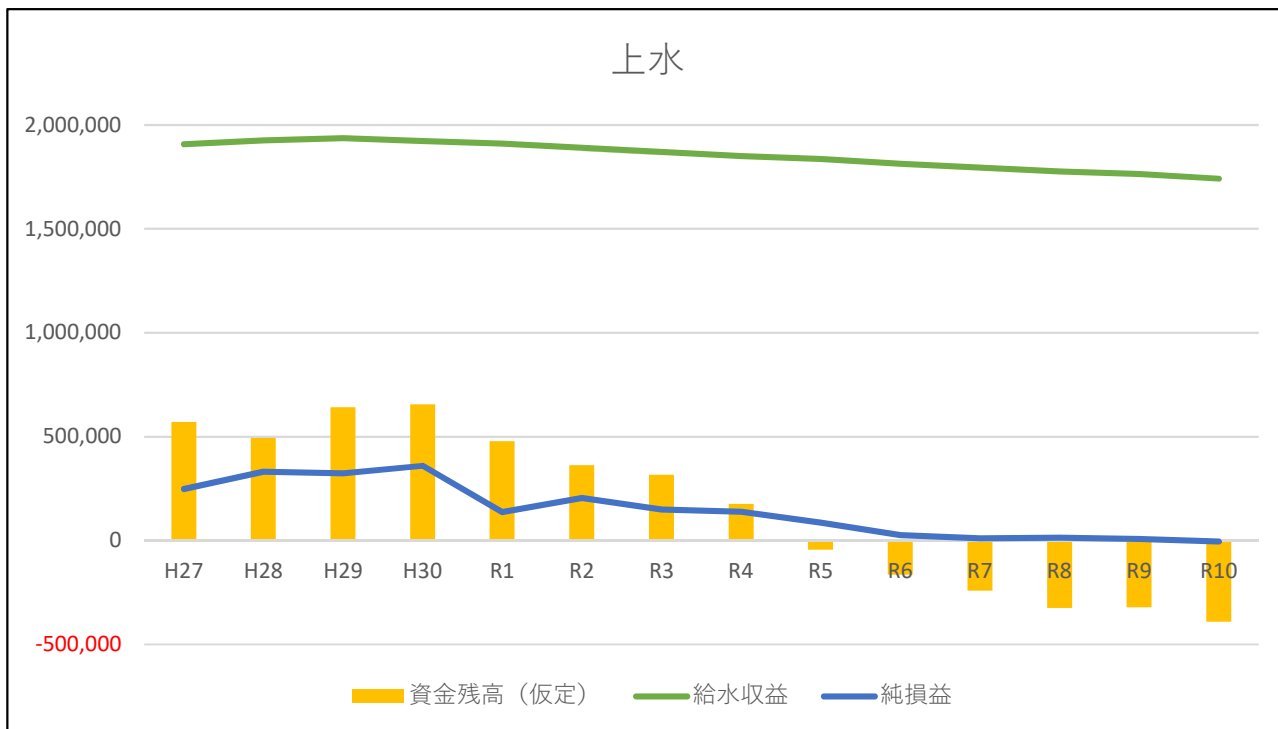
4. 対応

下水道事業会計の運転資金を確保するため、
「水道メーター地上化費用の下水道事業会計への出資を今年度から中止する」

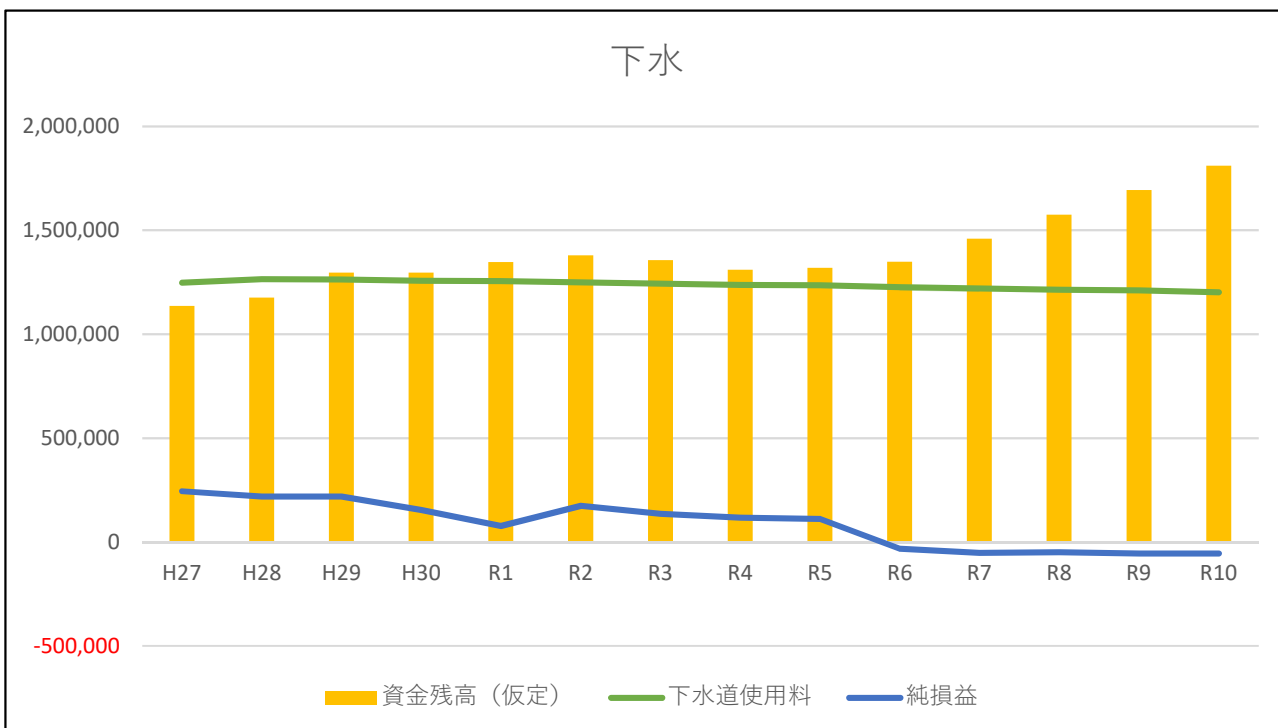
- （1）一般会計からの出資は、財政状況が厳しいので困難
- （2）今後、下水道事業会計は必要な資金（5億円）を確保可能
- （3）水道事業会計の資金はR7年度から5億円を下回るため、資金確保策を別途検討

(1) H27年度から下水道事業会計が出資していなかった場合

(単位：千円)



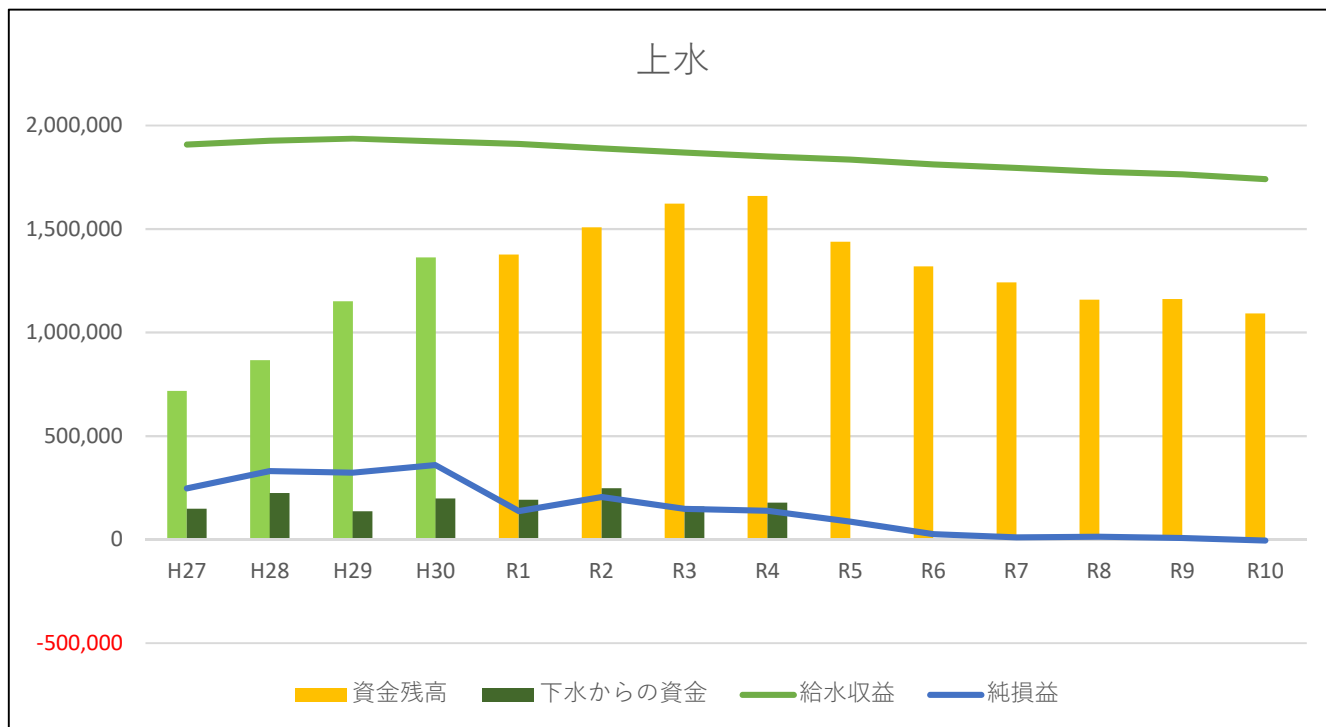
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
資金残高	569,576	493,757	641,438	655,460	477,094	362,341	316,044	176,286	-44,990	-165,200	-241,684	-324,926	-322,219	-391,581
純損益	247,919	331,509	323,316	359,989	137,300	205,578	149,083	138,887	86,360	25,808	10,758	14,227	7,773	-4,802



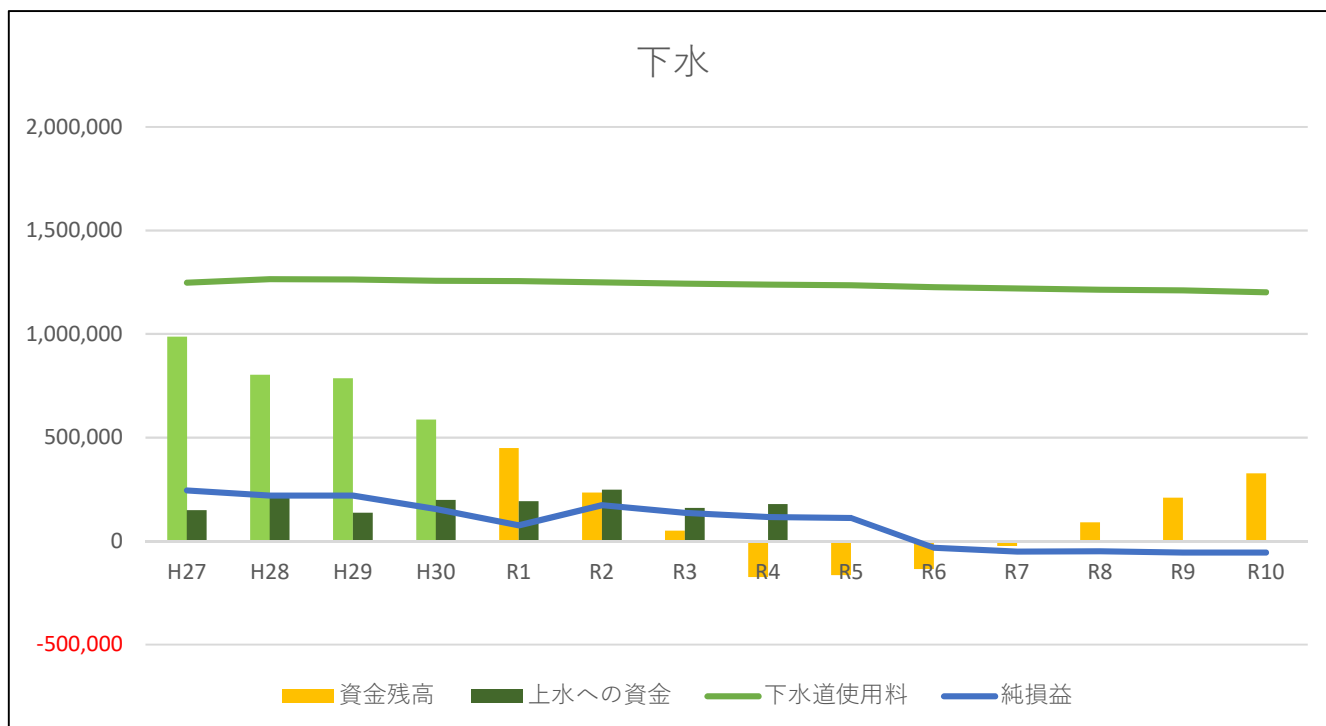
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
資金残高	1,136,024	1,175,601	1,296,408	1,295,134	1,346,936	1,379,509	1,355,402	1,309,121	1,318,273	1,348,004	1,459,684	1,574,041	1,693,230	1,810,167
純損益	244,479	219,656	219,639	154,916	76,544	173,709	136,083	116,567	110,808	-31,751	-51,480	-48,962	-54,905	-55,126

(2) 今年度以降、従来どおり下水道事業会計が出資を継続した場合

(単位：千円)



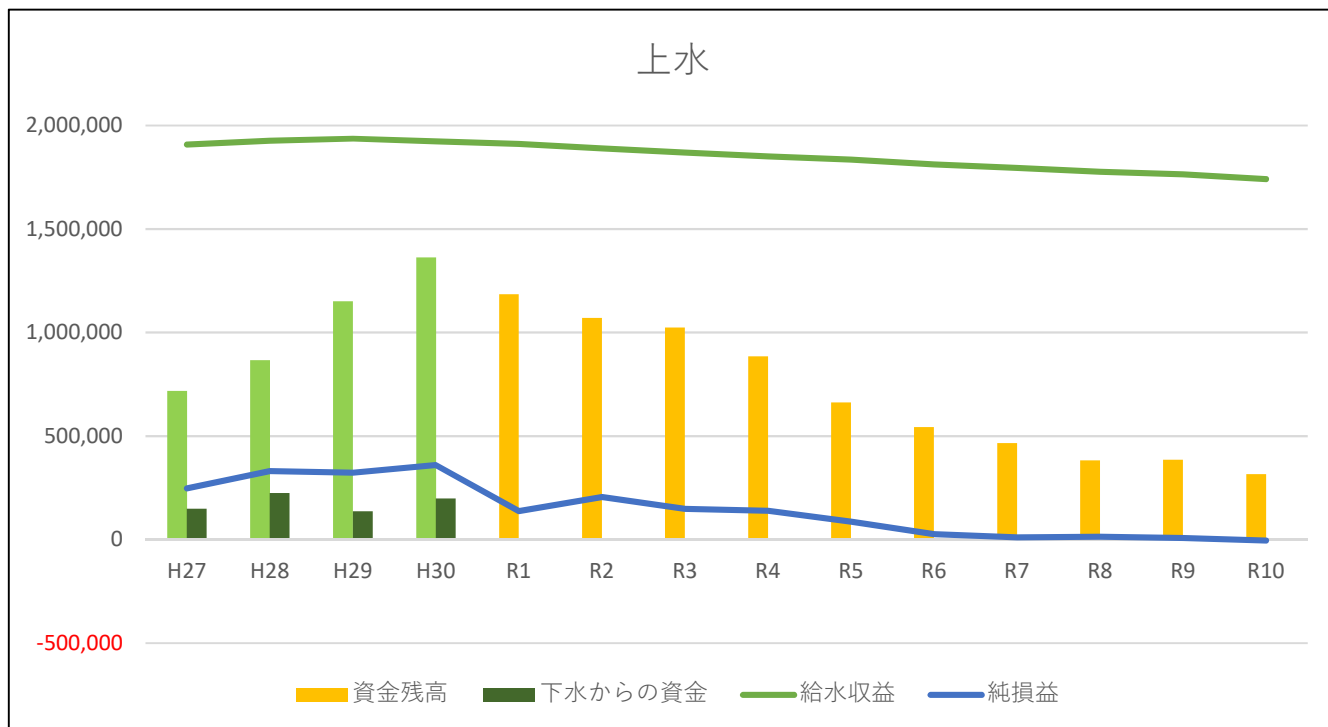
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
資金残高	717,899	866,210	1,150,751	1,363,062	1,376,082	1,508,190	1,621,559	1,660,006	1,438,730	1,318,520	1,242,036	1,158,794	1,161,501	1,092,139
下水からの資金	148,323	224,130	136,860	198,289	191,386	246,861	159,666	178,205						
純損益	247,919	331,509	323,316	359,989	137,300	205,578	149,083	138,887	86,360	25,808	10,758	14,227	7,773	-4,802



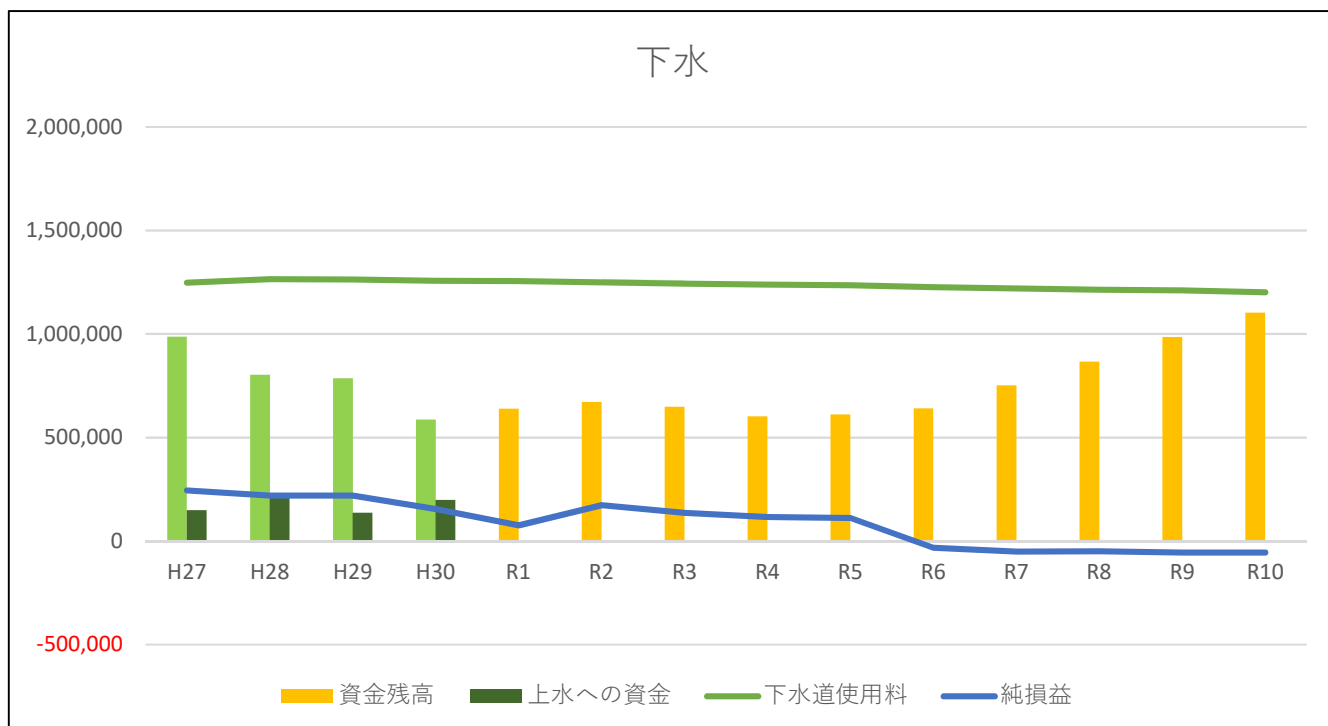
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
資金残高	987,701	803,148	787,095	587,532	447,948	233,660	49,887	-174,599	-165,447	-135,716	-24,036	90,321	209,510	326,447
上水への資金	148,323	224,130	136,860	198,289	191,386	246,861	159,666	178,205						
純損益	244,479	219,656	219,639	154,916	76,544	173,709	136,083	116,567	110,808	-31,751	-51,480	-48,962	-54,905	-55,126

(3) 今年度から下水道事業会計が出資を中止した場合

(単位：千円)



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
資金残高	717,899	866,210	1,150,751	1,363,062	1,184,696	1,069,943	1,023,646	883,888	662,612	542,402	465,918	382,676	385,383	316,021
下水からの資金	148,323	224,130	136,860	198,289										
純損益	247,919	331,509	323,316	359,989	137,300	205,578	149,083	138,887	86,360	25,808	10,758	14,227	7,773	-4,802



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
資金残高	987,701	803,148	787,095	587,532	639,334	671,907	647,800	601,519	610,671	640,402	752,082	866,439	985,628	1,102,565
上水への資金	148,323	224,130	136,860	198,289										
純損益	244,479	219,656	219,639	154,916	76,544	173,709	136,083	116,567	110,808	-31,751	-51,480	-48,962	-54,905	-55,126